



第112期 近況報告

2012.4.1 ▶ 2012.9.30

CONTENTS

● ごあいさつ	1
● FujiQ News	2
■ 新規施設続々オープン	
■ ウェブサイト「フジヤマNAVI」オープン	
● 事業別概況	6
● 連結・単独財務諸表	8
● お知らせ 単元未満株式の買取・買増制度のご案内	10
● 会社概況／株式情報	11
● 株主優待のご案内	12



富士急行株式会社

経営理念

いつも「喜び・感動」

富士急グループは、「富士を世界に拓く」という創業精神のもと、
オリジナリティの高い「喜び・感動」を創造することにより、
世界の人々の心の豊かさに貢献します。





株主のみなさまには、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

上半期におけるわが国経済は、震災復興需要等により個人消費は緩やかに持ち直しつつあるものの、長期化する欧州の債務危機問題や、中国をはじめとした新興国の経済成長の鈍化等により世界経済の減速懸念が高まるなど先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり、積極的な営業活動と経営の効率化に努めました。6月には世界文化遺産登録に向けた富士山エリアの一層のグローバル化に備えるため、富士山エリアの情報発信と完全ガイド機能を有したWebサイト「フジヤマNAV」を公開したほか、8月には一昨年の上海に続き海外2カ所目の駐在員事務所を台北に設置するなど営業力強化に努めました。

この結果、震災の影響による落込みからの回復もあり、営業収益は240億65百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は30億10百万円（同31.8%増）、四半期純利益は13億96百万円（同42.4%増）となりました。

下半期におきましても、当社グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況のもと、当社グループは「2012—2014年度中期経営計画」で掲げた「ポートフォリオマネジメント戦略」及び「エリア戦略」を引き続き推進し、一人でも多くのお客様に「夢・喜び・快適・やすらぎ・感動」を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

また、富士山と共に歩み続けてきた富士急グループとして、富士山世界文化遺産登録に向け、改めて創業精神であります「富士を世界に拓く」を共有・再確認し、富士山エリアのリゾート価値向上を通じ、地域と社会に貢献してまいります所存でございます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月
代表取締役社長 堀内 光一郎



脱出迷宮アトラクション 『絶望要塞』オープン

絶望要塞は本年7月にオープンした、“迷宮”と化した巨大な要塞からの脱出を試みるミッションクリア型のウォークスルーアトラクションで、脱出成功確率は限りなく0%に近い数字を目指しております。要塞内は、いくつものステージに分かれており、ステージが進むにつれてその難易度は増していきます。各ステージには「隠された手がかり」や「どこにあるか分からない扉」など様々な罠や仕掛けが散りばめられています。したがって、闇雲に進むだけではクリアできず、「知恵」や「記憶力」、「体力」、「想像力」、そして「運」を駆使した者だけが見事「完全脱出成功者」になれるのです。

▶ PICK UP

完全脱出成功者が誕生



オープンから49日目、72,132人目にして初の完全脱出成功者が誕生致しました。この偉業を成し遂げたのは、東京都在住のファミリーで、実に14回もの挑戦の末の完全脱出成功となりました。



『かいけつゾロリのぼうけんランド』オープン

「かいけつゾロリ」は1987年にスタートした原ゆたか氏作の児童書で、これまでポプラ社より51巻が発刊され、本のみならずテレビアニメや映画、ゲームなど様々な形で人気を博してきました。そんな人気作品の“ファンの皆様に満足してもらえる世界を作るにはどうしたらよいか”を、ポプラ社及び原ゆたか氏と内容を練った末、本の世界に入ってゾロリと“ぼうけん”体験をしようというコンセプトのもと、「かいけつゾロリのぼうけんランド」が誕生しました。



©原ゆたか/ポプラ社



空中スライダー 『モモンガトライアングル』オープン

空中スライダー「モモンガトライアングル」は、雄大な富士山を眺めながら、まるで“モモンガ”になった気分で湖上を滑空できるアクティビティです。湖上を3点で結ぶように3本の滑空が体験でき、富士山から滑り降りるかのような滑空と、富士山に向かっての滑空は、まさに“日本一の爽快感”を味わうことができます。尚、総延長は、もっとも長い約140mのラインを含む約300mに及びます。

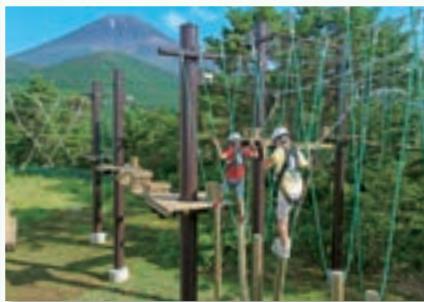


空中アスレチック ワイヤーマウンテン

空中アスレチック 『ワイヤーマウンテン』オープン



地上4～6mに位置する様々なワイヤーやネット、丸太で作られたコースを、空中移動していくアクティビティです。ゆらゆらとゆれながら前に進まなければならないので、バランス感覚を磨け、また恐怖に打ち勝つスリリングな体験が楽しめます。尚、コースは難易度別に、箱やサンドバッグをよけながら進む「初級コース」、ロープやデッキ、丸太に飛び乗りながら進む「中級コース」、ネットやクライミングパネルを登りながら進む「上級コース」の3コースに分かれており、合計アイテム数は19個、総延長は約120mに及びます。



空中アスレチック
天狗道場

 空中アスレチック
『天狗道場』オープン

「天狗道場」は、斜面に建てられた最高8mのデッキとデッキの間をロープや丸太など様々なアイテムを伝って空中移動するという、まさに“天狗”になったかのような体験ができるアスレチックです。もちろん専用のハーネスを着用するので落ちる危険はありません。さがみ湖リゾートの広大な大自然の中で空中から真下に落ちるかのようなスリルと、空中を疾走するような爽快感を味わいながらお楽しみ頂けます。そして何より、数々のアイテムを乗り越えてゴールしたときの達成感を得ることができます。コースは難易度に応じて初級、中級、上級の全3コースがあり、それぞれ約30分かけてゴールを目指します。


 立体迷路
カラクリ砦

 立体迷路
『カラクリ砦』オープン


立体迷路「カラクリ砦」は、5階層からなる巨大な建造物の中に400以上のブロックから構成されたコースを、上下左右、縦横無尽に動き回りながらゴールを目指す、全く新しい複層型巨大迷路アトラクションです。尚、5階層を全て一度のゲームの中で遊べる迷路は世界初となります。（※当社調べ）

挑戦者はまず1階からスタートし、パネルや階段によって作られた迷路と、様々なカラクリを越えながら最上階である5階のゴールを目指します。途中、多くの水平移動と上下移動を繰り返すため、挑戦者は次第に方向感覚を失い、ゴールに近づいているのか、迷い込んでしまっているのか分からなくなってきます。また、迷路終盤には“謎解き”が隠されており、選択を誤ると強制退出となってしまふなど、体力勝負で突き進むだけではなく「難関」も待ち受けています。



富士山エリアを完全ガイドするウェブサイト「フジヤマNAVI」

Webサイトを通じた富士山エリアの情報発信により、観光客の利便性向上や観光施設への集客支援を行う「フジヤマNAVI」を新たに公開しました。創業以来、富士山とともに発展し、鉄道やホテル、アミューズメントパークなどの事業を多角的に展開している強みを活かし、特集記事と連動したツアー商品の販売なども充実させていきます。2013年といわれている富士山世界文化遺産登録に向け、富士山エリアの活性化と価値向上を図ってまいります。



PICK UP



公式フェイスブックも
公開中

◀ フジヤマNAVIフェイスブック



- ▲ フジヤマNAVIおすすめのツアーをご紹介します!!!
ツアーのお申込みと決済が可能です。また、特集記事とタイアップしたツアーコースもご用意しています。



▲ フジヤマファームキッチン
～富士山の恵みを味わう～



▲ フジヤマNAVI×ORICON STYLE
富士山を世界遺産に応援プロジェクト



運輸事業

鉄道事業では、春のダイヤ改正に合わせ観光電車「富士登山電車」の増発（平日1往復増）や、フジサン特急の運転時刻の見直しを行い利便性向上に努めるとともに、沿線の野外音楽施設におけるコンサートとタイアップした装飾や記念入場券を販売するなど増収に努めました。

また、JR東日本と連携し、常磐線からの初の直通列車「お座敷ゆう富士山号」を新規運行するとともに、大宮駅発着の「ホリデー快速河口湖号」を区間延長し小山駅発着にするなど誘客に努め、また「プラレールトーマス誕生20周年」タイアップとしてお座敷列車内でプラレールが遊べる「プラレールトーマス号」を運転するなど新たな需要の創出と魅力向上に努めました。

乗合バス事業では引き続き不採算路線の改善を行うとともに、新規路線として三島地区及び都留市内において循環バスを運行開始するなど新規顧客の掘り起こしに努めました。

また、富士登山バス輸送では登山者の増加に合わせた運行体制をとるなど増収に努めました。

高速バス事業では、4月に「多摩～河口湖線」への乗入を開始しました。夏期・繁忙期には「名古屋～河口湖線」での夜行便の運行や、「大阪・京都～河口湖線」で4列シート車両を使い料金設定をお客様のニーズに合わせた「ライト便」を運行するなど、富士五湖発着路線のアクセス強化に努めました。

また、8月には「新宿～富士五湖線」で高速バス往復乗車券と富士急ハイランドフリーパスがインターネットから直接予約・購入できる「得QパックWEBチケット」を導入しました。

貸切バス事業では、首都圏他5カ所から富士急ハイランドへの会員募集型直行バスを運行し需要創出に努めました。

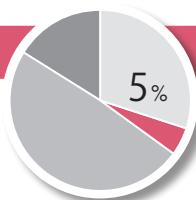
河口湖畔の天上山公園カチカチ山ロープウェイでは、鉄道・レトロバス・遊覧船とのセット券販売を強化したほか、3月に「ためき茶屋」を展望台に設置し集客に努めました。

なお、4月に河口湖営業所を富士急山梨バス株式会社へ統合し、高速バス等の運行効率の改善に努めたほか、5月には富士急コールセンターを新設し、高速バスの一部と鉄道の予約業務を1カ所に集約しました。

以上の結果、ハイヤー・タクシーなどの各事業を含めた運輸事業全体では、営業収益は81億31百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は7億49百万円（同138.2%増）となりました。



富士登山電車



不動産事業

不動産販売事業では、山中湖畔別荘地において大人の趣味・嗜好を追求できる「コンセプト・ヴィラ」シリーズに「ガレージハウス山中湖F」を、また「山中湖の森シリーズ」には「くつろぎの森」を新商品として加えるとともに、お客様への訴求効果の高いWebサイトをリニューアルし積極的な販売活動を展開しました。また、別荘オーナーを対象にジャズライブコンサートなどのイベントを開催したほか、一昨年より実施し好評を得ている「夏期オーナーズバス」の増便を行うなどCS向上に努めました。

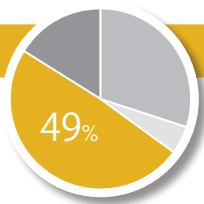


ガレージハウス山中湖F（※イメージ）

不動産賃貸事業では、甲府市、富士吉田市と松田町において外食チェーン店へ、また都留市ではホテルチェーン店へそれぞれ新築建物の賃貸を開始するなど土地の有効活用を図るとともに、施設の改修などを行い収入の確保に努めました。

以上の結果、不動産事業全体の営業収益は14億24百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は3億75百万円（同10.7%減）となりました。





レジャー・サービス事業

遊園地事業では、7月富士急ハイランドにポブラ社から刊行されている「かいつゾロリ」シリーズとコラボレーションしたテーマアトラクション「かいつゾロリのぼうけんランド」や、史上最難関の脱出迷宮アトラクション「絶望要塞」をオープンし話題を集めました。

富士南麓の遊園地「Grinpa」では、7月に空中スライダー「モモンガトライアングル」、空中アスレチック「ワイヤーマウンテン」をオープンし好評を博しました。

「さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト」においては、7月に新アトラクション 空中アスレチック「天狗道場」、立体迷路「カラクリ砦」をオープンし集客に努めました。

また、「富士本栖湖リゾート」では、「富士芝桜まつり」を特別鑑賞会として4月下旬から5月下旬まで開催し、約19万人のお客様にご来場いただきました。

さらに、4月新東名高速道路 NEOPASA駿河湾沼津において、レストラン「ソラノテラス」と世界初となる「リサとガスパール」のテーマカフェをオープンし好評を博しました。

以上の結果、ホテル事業・ゴルフ場事業等を含めたレジャー・サービス事業全体の営業収益は、ゴールデンウィーク及びお盆期間中の天候不順があったものの、129億94百万円（前年同期比9.1%増）となり、営業利益は18億8百万円（同23.2%増）となりました。



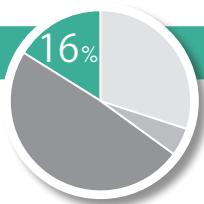
ワイヤーマウンテン



絶望要塞



天狗道場



その他事業

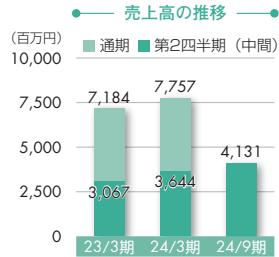
製造販売業では、株式会社レゾナント・システムズにおいて音声合成放送装置やバスロケシステムなどの交通機器販売が順調に推移し、建設業では富士急建設株式会社において民間工事の受注増

加により収益が向上しました。

以上の結果、その他事業全体の営業収益は41億31百万円（前年同期比13.4%増）となり、営業利益は1億21百万円（同9.3%増）となりました。



音声合成放送装置 FC-7000B



連結財務諸表



連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期	前連結会計年度
		連結会計期間 (平成24年9月30日現在)	(平成24年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		25,756	23,896
固定資産		64,444	63,752
有形固定資産		55,191	54,541
無形固定資産		3,047	3,047
投資その他の資産		6,205	6,162
資産合計		90,200	87,649
(負債の部)			
流動負債		31,936	22,561
固定負債		40,945	48,593
負債合計		72,882	71,154
(純資産の部)			
株主資本		16,801	15,934
その他の包括利益累計額		△110	△29
少数株主持分		626	589
純資産合計		17,317	16,494
負債・純資産合計		90,200	87,649

連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期	前第2四半期
		連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
営業収益		24,065	22,558
営業費		21,054	20,273
営業利益		3,010	2,284
営業外収益		161	122
営業外費用		591	611
経常利益		2,581	1,795
特別利益		131	136
特別損失		394	213
税金等調整前四半期(中間)純利益		2,319	1,718
法人税、住民税及び事業税		927	818
法人税等調整額		△46	△129
少数株主利益		41	47
四半期(中間)純利益		1,396	981

単独財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当第2四半期 連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
	営業活動によるキャッシュ・フロー		5,437
税金等調整前四半期（中間）純利益		2,319	1,718
減価償却費		2,481	2,408
その他損益等調整額		672	534
資産・負債の増減額		564	576
小計		6,037	5,237
利息の支払額等		△599	△796
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,460	△2,027
有形固定資産の取得による支出		△2,914	△2,210
その他		454	182
財務活動によるキャッシュ・フロー		△606	△560
借入金の増減額		316	△393
その他		△923	△167
現金及び現金同等物の増減額		2,370	1,852
現金及び現金同等物の期首残高		10,225	8,805
現金及び現金同等物の四半期（中間期）末残高		12,596	10,657

単独貸借対照表（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	第112期第2四半期 (平成24年9月30日現在)	第111期前事業年度 (平成24年3月31日現在)
	(資産の部)		
流動資産		22,385	20,812
固定資産		57,225	56,319
資産合計		79,610	77,132
(負債の部)			
流動負債		27,740	17,855
固定負債		36,425	44,150
負債合計		64,165	62,005
(純資産の部)			
株主資本		15,556	15,169
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,399	3,399
利益剰余金		4,218	3,831
自己株式		△1,188	△1,188
評価・換算差額等		△111	△42
その他有価証券評価差額金		△111	△42
純資産合計		15,444	15,126
負債・純資産合計		79,610	77,132

単独損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	第112期 第2四半期（累計） (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	第111期 第2四半期（累計） (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
	営業収益		13,254
営業費		11,118	10,656
営業利益		2,135	1,866
営業外収益		153	164
営業外費用		564	578
経常利益		1,724	1,451
特別利益		107	32
特別損失		369	163
税引前四半期（中間）純利益		1,462	1,321
法人税、住民税及び事業税		582	535
法人税等調整額		△41	△5
四半期（中間）純利益		921	791

単元未満株式の買取・買増制度のご案内



単元未満株式の買取請求・買増請求について

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

当社の単元株式数は1,000株ですので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。お持ちの単元未満株式を当社が買い取るか（買取請求）、もしくは1単元である1,000株とするために、当社から単元未満株式を買い増す（買増請求）ことができます。

【お手続きについて】

■ 証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社にお問い合わせください。ただし、株券電子化以前に株券が発行されていない単元未満株式（証券会社の口座に記録されているものを除きます）をお持ちであった場合には、株券電子化実施日時時点で、単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記に記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

■ 証券会社に口座を開設されていない株主様

単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記に記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

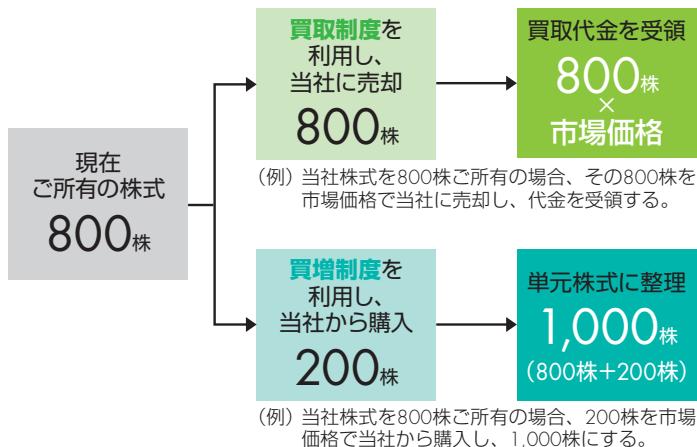
単元未満株式の買取・買増制度の概要

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元（1,000株）の株式にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。



お知らせ

単元未満株式の「買取請求」及び「買増請求」に係る手数料の無料化について

このたび当社は、株主様の便宜を図るため、従来株主様に負担いただいております買取請求・買増請求に係る手数料を、平成24年9月1日受付分から「無料化」することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

単元未満株式をご所有の株主様におかれましては、買取・買増請求のご利用をご検討ください。

株式に関する手続きのお問い合わせ ▶ 当社株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711

会社概況／株式情報

会社概要 (平成24年9月30日現在)

- 商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設立 大正15（1926）年9月18日
- 資本金 91億2,634万円
- 代表者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役員 (平成24年9月30日現在)

代表取締役社長	堀内 光雄	取締役	小林 正幸
代表取締役社長	堀内 光一郎	取締役	和田 一成
専務取締役	堀内 哲夫	取締役	勝 俣 久夫
専務取締役	福重 隆一	取締役	高 部 久夫
専務取締役	小泉 孝一	取締役	清水 田守力
常務取締役	小林 野厚	取締役	堀岡 和敏
常務取締役	林 宇史	取締役	水田 本賢
取締役	宇野 山田	取締役	菅 廣小
取締役	山田 譲	取締役	篠 木 哲
取締役	尾 護	取締役	森 田 哲

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	331,695,000 株
■ 発行済株式の総数	109,769,477 株
■ 株主数	6,355 名

大株主 (平成24年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人堀内浩庵会	12,912	12.09
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.90
日本生命保険相互会社	10,633	9.96
富国生命保険相互会社	10,624	9.95
朝日生命保険相互会社	7,650	7.16
株式会社東京ドーム	3,052	2.86
富士急行株式会社	2,965	2.70
みずほ信託銀行株式会社退職給付 信託 スルガ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス 信託銀行株式会社	2,555	2.39
日野自動車株式会社	2,506	2.35
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.32

連結子会社の状況 (平成24年9月30日現在)

〔運輸部門〕

- 岳南鉄道(株)
- 富士急行観光(株)
- 富士急平和観光(株)
- 富士急山梨バス(株)
- 富士急シティバス(株)
- 富士急静岡バス(株)
- (株)フジエクスプレス
- 富士急湘南バス(株)

- 富士急オートサービス(株)
- (株)静岡ホールディング
- 富士急伊豆タクシー(株)
- 富士急山梨ハイヤー(株)
- (株)富士急マリンリゾート

〔レジャー・サービス部門〕

- (株)富士急ハイランド
- (株)フジヤマリゾート

● 相模湖リゾート(株)

- (株)富士宮富士急ホテル
- ハイランドリゾート(株)
- 表富士観光(株)
- 富士急安達太良観光(株)
- 富士観光興業(株)
- 富士急トラベル(株)
- (株)ピカ

〔不動産部門〕

- (株)富士急リゾートアメニティ

〔その他部門〕

- (株)富士急百貨店
 - 富士急建設(株)
 - (株)レゾナント・システムズ
 - 富士ミネラルウォーター(株)
- その他8社

株主優待のご案内



電車・バス・観光施設 共通優待券

ご優待の内容 枚数

- 電車全線乗車
(1枚につき片道1名乗車)
- バス全線乗車
(1枚につき片道1名乗車)
- 富士急ハイランド
(1枚につき1名入園、5枚に
つきフリーパス1枚と引換)
- ぐりんぱ
(1枚につき1名入園、5
枚につきワンデーケーポ
ン1枚と引換)
- さがみ湖リゾート
プレジャーフォレスト
(1枚につき1名入園、5枚に
つきフリーパス1枚と引換)
- スノータウンYeti
(5枚につき1日入場滑走
券1枚と引換)
- あだたら高原スキー場
(5枚につきリフト1日券
またはゴンドラ往復券1
枚と引換)
- 初島アイランドリゾート
(1枚につき1名入園)
- 天上山公園カチカチ山
ロープウェイ
(1枚につき1名乗車(往
復))
- 河口湖遊覧船・山中湖遊
覧船・本栖湖遊覧船
(1枚につき1名乗船)
- 初島航路
(1枚につき1名乗船(片道)、
2枚につき1名乗船(往復))
- フジヤマミュージアム
(1枚につき1名入館)
- ふじやま温泉
(2枚につき大人1名入館、
1枚につき小人1名入館)



× 40 枚



× 25 枚



× 15 枚



× 10 枚



× 7 枚

フリーパス引換券

ご優待の内容 枚数

- 遊園地フリーパス
(富士急ハイラン
ド・ぐりんぱ・さが
み湖リゾートプレジ
ャーフォレスト)
- スキー場一日券
(スノータウン
Yeti・あだたら高
原スキー場)



× 6 枚



× 5 枚



× 4 枚



× 3 枚



× 2 枚

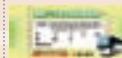


× 1 枚

高速バス乗車券

ご優待の内容 枚数

高速バス乗車券*1



× 4 枚



× 2 枚



× 1 枚

●高速バスご利用について*1

高速バス乗車券は、中央高速バス「富士五湖～新宿線」「富士山五合目～新宿線」「甲府～新宿線」、東名高速バス「河口湖～東京・市が尾線」「富士宮～東京線」「富士～東京線」「沼津～東京線」「沼津～新宿・渋谷線」「三島～新宿・渋谷線」の富士急便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線 優待パス

ご優待の内容 枚数

電車・バス全線
優待パス(表示
された持参人1
名)



× 1 枚

35,000
株以上

20,000
株以上

10,000
株以上

5,000
株以上

3,000
株以上

1,000
株以上

長期保有特別優待券*²

ご優待の内容

枚数



× 3 枚

「ハイランドリゾートホテル&スパ」「ホテルマウント富士」の指定するツインルーム室料100%またはホテル内レストラン利用料30%割引券(3年に1度の発行となります。)



× 2 枚

施設割引券

ご優待の内容

枚数

ハイランドリゾートホテル&スパ

1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引

ホテルマウント富士

ホテルマウント富士プール割引券

2 枚

富士宮富士急ホテル

2ホテル共通1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引

甲府イーストサイドホテル

レストラン・バー10%割引(1枚につき4名まで)、「ホテルマウント富士」では、食事付入浴10%割引(1枚につき4名まで)として利用可。

5 枚

富士ゴルフコース

所定プレー料金から2,000円割引(1枚につき4名まで)

ゴルフパークBandi

バック料金から1,000円割引、土日祝日2,000円割引(1枚につき4名まで)

1 枚

大富士ゴルフ場

所定プレー料金から2,000円割引(1枚につき4名まで)

ふじやま温泉

入館料 平日大人750円 小人400円
土日祝日 大人1,000円 小人500円(1枚につき4名まで)

PICA山中湖ヴィレッジ

コテージ1棟(素泊り)10%割引、レストラン「FUJIYAMA KITCHEN」5%割引

2 枚

PICA富士吉田・PICA富士西湖・キャンピカ富士ぐりんば・パティントンペアキャンピングラウンド

1枚につき1泊1室10%割引

富士ミネラルウォーター

1枚につき20%割引(1ケース以上)

1 枚

富士急トラベル

パッケージ旅行代金の5%割引(1枚につき4名まで)

2 枚

富士急ハイランドボウリング場

平日100円引き
土日祝日200円引き
(1枚につき4名まで)

富士急オートサービス

車検・点検・整備 工賃10%割引

1 枚

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で1,000株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に対してそれぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

● 長期保有特別優待券について*²

■ 長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日(3月31日、9月30日)の株主名簿において、対象となる株式数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様へ**3年経過ごと**に発行しております。**(3年に1度の発行となります。)** 相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有されている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対象となりませんのでご注意ください。

■ 長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、旧盆(8月)等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。
その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。

富士山を 世界遺産に



富士急グループは、「富士を世界に拓く」の創業精神のもと、
富士山の世界文化遺産登録を応援します。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
<http://www.fujikyuu.co.jp/>



本誌は再生紙を使用しています。